

令和4年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

⑪ 歴史学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

問題 1 は〈共通問題〉です。必ず解答してください。

問題 2 は〈選択問題〉です。問 A・問 B・問 C のなかから 1 つを選び、解答してください。解答用紙は計 2 枚あります。解答は問題 1、問題 2 それぞれ別の解答用紙に記入し、計 2 枚を提出してください。問題 2 については、選択した問題のアルファベットを明記してください。

問題 1 (100 点)

〈共通問題〉

近代東アジアにおける国際法の受容と、それが東アジア諸国の関係にもたらしたインパクトについて、特に清朝の動向に留意しつつ論じなさい。

問題 2 (100 点)

〈選択問題〉

問 A

蒋介石が発したことで知られる「以德報怨」が意味することについて具体的に説明しなさい。そのなかで、「以德報怨」が戦犯裁判、戦争賠償、留用とそれぞれどう関係あるのか論じなさい。

問 B

高句麗史帰属問題について、その論争過程を概観した上で、国民国家にもとづく歴史観への評価を交えながら論じなさい。

問 C

9 世紀を東アジア海域の歴史における画期とする考え方があるが、その詳細を論じなさい。